

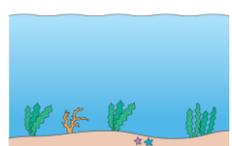
4歳児クラス 7月 第1回 「スイミー」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> 保:「スイミー」「こんにちは」スイミー(ペープサート)が生き生きと登場。 講:「お魚さんこんにちは」「僕はスイミーだよ!1匹だと小さいけど、仲間と協力すればなんだってできるんだよ」「僕達のお話読んでみてね」等でお話に繋げる。 	教材	
	読み方	<ul style="list-style-type: none"> ①海の中や生き物達の様子に興味を持てるように読む。 ②力を合わせて大きな魚を退治する場面では、子ども達も応援する気持ちになるように読む。 ③子ども達が海の中の生き物などを見つけたら拡大して見せる。 	

がくしゅうタイム

活動①		ねらい	法則性①	自分で考えた法則性を繰り返し楽しむことができる	
設問	魚カードでいろいろな法則性を考えましょう				
つなぎ	保:「スイミーのお友達がたくさん来たよ」				教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 袋(箱等でも良い)から提示用魚カードを、1匹ずつ色を言いながらホワイトボードに貼っていく。 講:「赤・青・赤・青・赤次は?」「そう!青だね、じゃあ次は?そう!赤だね」等、次は何色か、法則性に気がつくように提示する。 「順番に並んでいると気持ちいいね、綺麗だね」 「先生もうひとつ考えた」「赤赤青・赤赤、次は?そう青だね、じゃあ次は?…」等、子ども達の理解度に合わせた法則性を考えて並べる。 子ども達にも魚カードを配布し自分の考えた法則性で並べる。 いろいろな法則性が出来たら称賛して活動②に繋げる。 				提示用魚カード (赤・青各20枚) 袋や箱等 皿
					保育士の役割
活動②		ねらい	巧緻性	魚を糊で貼り自由に表現することを楽しむ	
設問	魚を糊で貼り自由に表現することを楽しみましょう				
つなぎ	保:「そろそろ海でも泳ごうよ!」海台紙提示				教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講:「いいね!どんな風に泳ごうかな?」等で、見本を見せる。赤・青・赤・青の順番も良いし、好きなように泳がせても良い。 講:「皆の魚も海で泳ぎたいみたい」等で、子ども達に海台紙配布。 海台紙に魚カードを自分で好きなように考えながら置いていく。 糊の貼り方 <ul style="list-style-type: none"> ①糊で糊の道を作りその上に魚を貼っていく。 ②魚カードの裏に糊を付けて貼る。 魚の向きを揃えて貼る時は(口が前を向くように貼る)「しっぽにぱくん」など、わかりやすいキーワード(リズム)を伝えると良い。 皆が出来たら称賛して終了。 時間があれば、どんな所を工夫したか聞くのも良い。 				海台紙 魚カード 提示用魚カード 皿 ★指糊・お手拭き
					保育士の役割
				<ul style="list-style-type: none"> 海台紙を持って登場 海台紙配布 糊・お手拭き配布 子どものフォロー 称賛 	

数チャレ	ねらい	数	多い方を指差すことができる	教材
設問	7対6どちらが多い?			おはじき 皿
活動内容	・おはじきが7個入った皿と6個入った皿を見比べて多い方を指さす。			保育士の役割 ・皿の提示 ・子どものフォロー ・称賛

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	物語の世界に子ども達が入り込めるように読むことが出来たか
活動①法則性	「法則性」の面白さに興味を持たせることが出来たか
活動②巧緻性	のりの使い方の指導がきちんと出来たか
活動③数	1つずつ移動させる見本をきちんと行ったか
数チャレ(7:6)	瞬時に比較させることが出来たか

楽習タイム♪

*** テーマ・法則性 ***

ならべてみよう

1. 並べる物を集める。 ※まずは色別からスタートがお薦めです
例：ミニカー・積み木・おはじき・シール等並べやすく、
数がたくさんあるもの。
2. ○●○○●や○○●○○●等、最初は大人が法則性を考え並べていき、そこに子どもが繋げていく。
※「赤青赤青…」などまずは端から指さしながら声に出して
言ってみましょう
3. 慣れてきたら自分なりの法則性を自由に考えて並べていけると
良いですね。

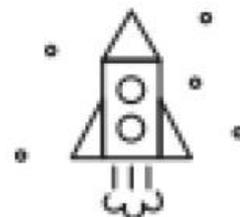


次は何かな？と、先を考え見つけ出す力が
つきますよ！！



今月のえかきリズム

*** ロケット ***



えかきリズム
の動画は
こちら



楽習タイム
の動画は
こちら

